

(5) 地震発生時の教職員の安全指導例

<b>授業中【普通教室にいる時】</b>	
<b>発生時の第一行動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 騒がないこと。</li> <li>○ 慌てて教室外に飛び出さないこと。</li> <li>○ 先生の指示を静かに最後まで聞くこと。</li> <li>○ 窓や窓際から離れること。</li> <li>○ 机等の下にもぐること。</li> <li>○ 防災頭巾、座布団等で頭部を守ること。</li> <li>○ 火気は、すぐ消火できる場合は素早く処理し、できない場合は揺れが小さくなってから消火すること。</li> </ul>
<b>避難行動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放送等の指示により避難を開始すること。</li> <li>○ 静かに迅速に整列すること。</li> <li>○ 4つの約束を守り、素早く行動すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おさない</li> <li>・かけない</li> <li>・しゃべらない</li> <li>・もどらない</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">「お・か・し・も」の約束</p> </div> <p>※ 災害によっては、早足で避難しなければならない場合があるので、適切な判断と指示が重要となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 決められた場所に整列して集合すること。</li> <li>○ 落ち着いて待機すること。</li> </ul>
<b>教職員の指示と行動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どのような行動をするのか大声で明確に指示する。また、心の安定を図るため今より大きな地震は起こらないことを知らせる。</li> <li>○ 机が揺れによって移動することがあっても机の下にもぐらせ、防災頭巾や座布団などで頭を守らせる。</li> </ul> <p><b>【指示例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大丈夫、あわてるな」</li> <li>・「静かにして、落ち着け」</li> <li>・「外に出るな」</li> <li>・「机の下にもぐれ」</li> <li>・「防災頭巾をかぶれ」</li> <li>・「机の脚を両手でしっかりつかめ」</li> <li>・「頭を下げて、じっとしている」</li> <li>・「揺れがおさまるまで頭を出すな」</li> <li>・「大丈夫だ。心配するな。落ち着け」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 窓際やテレビ、ロッカーなどから離れさせる。頭部を反対方向に向かせる。</li> <li>○ 揺れがおさまったら、教室の窓やカーテン、出入り口を開け出口を確保する。</li> <li>○ ストープ等の火気使用中の場合は、児童・生徒をストーブから離れさせ、消火する。</li> <li>○ 児童・生徒等が反射的に外に飛び出すことのないようにしっかり掌握する。</li> </ul>